



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵を つくります

地元の声

- ・ 人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。(地元住民)

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



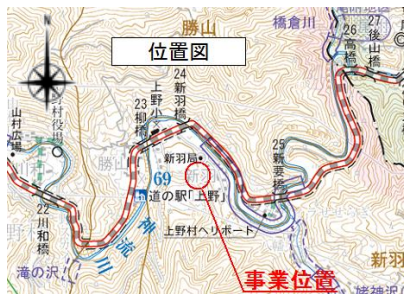
事業後

- ◆ がけ崩れの対策施設をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

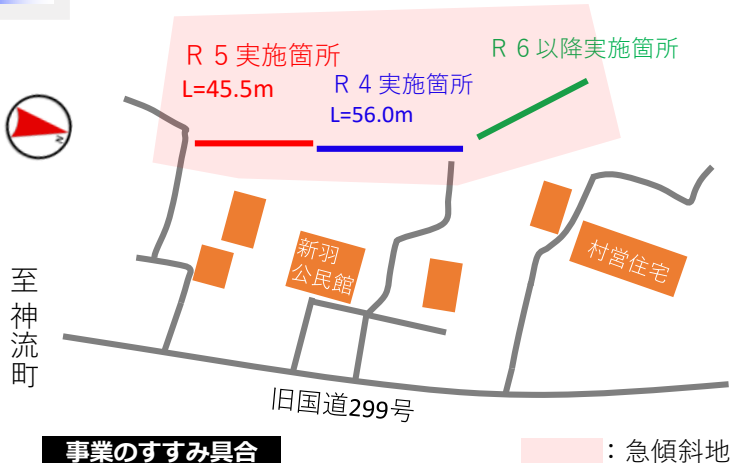


事業の概要

- 事業箇所：上野村新羽
- 事業内容：防護柵工 延長166.5m
- 事業期間：令和元年度～



事業の進捗状況(令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は工事を実施し、対策を推進します。



事業開始 ●

● 事業完了